

NAKA

公益社団法人 名古屋中法人会・広報誌 [なか]

2014

新春

VOL.154



2014年 新春号 目次

DIARY.....	1
新春のごあいさつ.....	2
公益社団法人 名古屋中法人会 会長 岡谷 篤一氏 名古屋国税局 課税第二部長 松山 清人氏	
局長インタビュー.....	4
名古屋国税局 局長 富永 哲夫氏	
名古屋市内9法人会合同講演会.....	8
評論家 石平氏	
お時間拝借.....	12
(有)芳光 取締役会長 初代当主 島岡 孝光氏	
ものづくり 名古屋の老舗.....	16
(株)梅金商店 代表取締役社長 山田 順一郎氏	
《ダカラオモシロイ NAKA》.....	20
名古屋ニコニコランド ミニサッカー大会	
健やかサークル.....	22
睦月&如月 旬の食卓	
季節を楽しむ和菓子の魅力.....	23
御菓子所 (有)芳光	
新春特集 法人会活動研究.....	24
次世代につなぐ幹を育てよう	
シリーズ・この人.....	28
成田山萬福院 住職 竹島 照般氏	
みんなに笑顔を、クラウンがやってきた！.....	32
《部会・支部事業》.....	34
《社長のやる気サポート》.....	39
《NEWS》.....	40
《会員サロン》.....	44
住吉の語り部となりたい② アメリカ村 料亭つたも主人 深田 正雄氏	
日本を振りかえる① 会友 藤間工業(株) 代表取締役会長 藤間 敏雄氏	
《税務のお知らせ》.....	48
新入会員の紹介.....	50
行事メモ.....	52



表紙の人
成田山 萬福院
住職 竹島 照般氏

【プロフィール】
昭和23年1月20日生まれ
昭和45年3月 大正大学仏教学部卒業
公職/中区選挙管理委員
住所/名古屋市中区栄5-26-24

jan.



- 6月 仕事始め
- 7火 七日正月&七草粥
第5回・総務委員会
芳蘭亭 17:00~
- 8水 新年税務署長挨拶
名古屋中税務署 13:30~
- 9木 女性部会・第6回理事会
芳蘭亭 10:30~
- 13月 成人の日
- 16木 《みんなに笑顔をクラウンがやってくる》
中区介護保険事務所 14:00~
「デイサービスセンターなか」
- 17金 税務連絡協議会「税務なか」区分け作業
名古屋中税務署会議室 14:30~
- 21火 県連・理事・委員合同賀詞交歓会
名古屋東急ホテル 16:00~
- 23木 名古屋中税務連絡協議会定例会
名古屋中税務署会議室 14:30~
新春講演会 18:00~
『いつやるか?今でしょ!』
講師:東進ハイスクール予備校
林 修氏
新年賀詞交歓会 19:30~
女性部会・青年部会・経営研究会合同
場所:中日パレス
- 24金 専務理事会議
大同生命ビル 14:00~
- 30木 女性部会・初春の健康講座
《あなたの笑顔がつなぐ幸せ》
~あるがままに生きる~
第一部~からだの健康~
講師:愛知健康増進財団
名誉診療所長 水野 金一郎氏
「がん健診の有効性と対策について」
第二部~こころの健康~
薬師寺 執事 大谷 徹英氏
名古屋東急ホテル 15:00~

feb.



- 3月 節分
~恵方は東北東の竜泉寺観音
立春
- 4火 市内法人会合同講演会
日本特殊陶業市民会館 13:30~
『どうなる!2014年の日本経済』
講師:経済評論家・作家
三橋 貴明氏
青年部会・新入会員オリエンテーション
名古屋クレストンホテル 19:00~
- 7金 《ソチ冬季五輪・開会式》
- 10月 大同生命「大型保障契約達成祝賀会」
ウエスティンナゴヤ 15:00~
- 11火 建国記念の日

mar.



- 3月 ひな祭り
県連・組織委員会
大同生命ビル 12:00~
- 4火 第88回東海法人会連合会静岡大会
法人会運営研究発表会
ホテルセンチュリー静岡 14:30~
《地域とともに歩む法人会》
~次世代につなぐ幹を育てよう~
- 6木 啓誓
青年部会・第7回役員会議
名古屋クレストンホテル 18:00~
第3回・厚生委員会
事務局会議室 10:30~
- 8土 名古屋シティマラソン2014
- 11火 県連・女連協常任理事会
大同生命ビル 12:00~
専務理事会議
大同生命ビル 15:00~
- 12水 第2回・税制委員会
事務局会議室 10:30~
- 13木 女性部会・第7回理事会
事務局会議室 10:30~

may.



- 18火 第5回・理事会
昭和ビル9F会議室 15:30~
 - 20木 青連協・常任理事会
大同生命ビル 13:30~
 - 25火 第5回・常任理事会
昭和ビル9F会議室 14:30~
- april.
- 2水・3木 新入社員研修会
講師:森 眞江氏
社会人の租税教室
名古屋中税務署・広報広聴官
昭和ビル9Fホール 10:00~16:30
 - 4金・7月 新入社員研修会
講師:加藤 育美氏
社会人の租税教室
名古屋中税務署・広報広聴官
昭和ビル9Fホール 10:00~16:30
 - 9水 新入社員研修会
講師:森 眞江氏
社会人の租税教室
名古屋中税務署・広報広聴官
川本製作所会議室 10:00~16:30
 - 10木 第9回・法人会全国女性フォーラム
香川大会
サンポートホール 14:00~
経営研究会総会
名古屋東急ホテル 18:00~
 - 15火 青年部会・第34年度総会
名古屋クレストンホテル 18:00~
 - 16水 第6回・理事会
昭和ビル9Fホール 15:30~
県連・青連協定時総会
ホテルキャッスルプラザ 16:00~
 - 17木 県連・女連協定時総会
ホテルキャッスルプラザ 11:00~
 - 22火 女性部会・第31回通常総会
名古屋東急ホテル 14:30~
 - 25金 県連・理事会
名鉄グランドホテル 12:00~
決算期別研修会(3月)
昭和ビルホール 13:30~
 - 29火 昭和の日
- 3土 憲法記念日
 - 4日 みどりの日
 - 5月 こどもの日
 - 6火 振替休日
 - 26月 決算期別研修会(4~6月)
昭和ビルホール 13:30~
 - 27火 公益社団法人名古屋中法人会
第3回・通常総会
記念講演会
講師:ジャーナリスト
長谷川 幸洋氏
「安倍政権とこれからの日本」
~わが国が進もうとしている道の是非
を検証する~
名古屋東急ホテル 14:30~



公益社団法人名古屋中法人会 会長

岡谷 篤一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、日頃から法人会の活動に対しまして深いご理解と暖かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の世界経済は緩やかな拡大が続き、日本経済も少子高齢化、産業空洞化による需要減少等があるものの株価上昇による消費マインドの改善、円高の是正や公共投資に支えられ、緩やかな回復基調を辿りました。そのような環境の中、当地域では、輸出環境の改善に伴う業績の回復などから緩やかな景気回復が続いており、大企業の中には業績を大きく改善した企業もありますが、中小企業の中には国内での需要の減少、円安による原材料価格の高騰などにより景気回復を実感できない企業もある状況です。迎えます本年は4月に消費税率の引上げあるものの引き続き景気回復が期待され、格別当地域は、世界でも競争力のある「ものづくり」の中核圏域であり、高い技術力が集積しており、景気回復の原動力となることが期待されます。

名古屋中法人会は公益社団法人として公益化をどう果たしていくべきかを常に念頭に置き、社会貢献事業、租税教育、税務研修会等を進めるとともに、昨年総会において役員の若返りを図り21名の若手の新任役員を選出し、12月には愛知県法人会運営研究会において、公益社団法人としての名古屋中法人会の活動状況を「地域とともに歩む法人会 ～次世代につなぐ幹を育てよう～」と題し、発表を行ない、本年3月には東海法人連合会静岡大会においても発表する予定です。

本年も、保育園・幼稚園や社会福祉施設へのクラウンの派遣、学童ミニサッカー大会、市民参加のフェスティバル「ニコニコランド2014」の開催、学校や職場での「笑顔であいさつ運動」の推進などを行い地域社会貢献に努めていくとともに、よき経営者を目指す団体として、税務研修会等を通じて会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の高揚と企業経営及び社会の健全な発展に努めて参ります。

どうか、皆様には今後とも法人会の活動に倍旧のご理解、ご支援をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが会員の皆様のご健勝と会員各社のご発展、ご繁栄を心から祈念するとともに、関係ご当局の変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



平成26年

新春のごあいさつ



名古屋国税局 課税第二部長

松山 清人

平成26年の年頭に当たり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

公益社団法人名古屋中法人会会員の皆様には、日頃から税務行政につきまして格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の管内の経済情勢を振り返りますと、輸出環境の改善に伴う業績の回復などから景気は緩やかに回復しつつあります。

また、経済以外の面に目を向けましても、富士山の世界文化遺産への登録や2020年のオリンピック・パラリンピックの東京開催の決定など、私たちに大きな活力を与えてくれた明るい出来事がありました。

このような中で迎える新しい年が、会員企業の皆様にとって希望の多い充実した年となりますことを祈念いたしますとともに、貴法人会が引き続き魅力ある事業活動を展開され、会員企業と地域社会の発展に一層の貢献をされますことを御期待申し上げます。

ところで、社会保障制度の充実・安定化を図るとともに、持続可能な財政構造を構築するため、本年4月1日から消費税及び地方消費税の税率を8%に引き上げることとされております。

国税当局といたしましては、納税者の皆様が消費税法の改正内容を十分に理解し、自ら適正な申告と納税を行っていただけるよう、広報・相談・指導に取り組んでいるところであります。また、各税務署に改正消費税法に関する相談窓口を設け改正内容の相談・指導にあたりるとともに、転嫁や価格表示に関する相談についても、適切に対応するなど関係省庁等と連携して取り組んでおります。

誠実な納税者の団体である法人会の皆様には、税務行政のよき理解者として引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、最近の税務行政を取り巻く環境は、経済のグローバル化、ICT化、事務効率化の要請などにより大きく変化しております。

これらの変化に対して、国税当局といたしましては、調査必要度の高い分野に事務量を重点的に投下するほか、実地調査以外の書面照会や説明会なども組み合わせた多様な手法により、納税者の皆様が自発的に納税義務を履行していただけるよう税務コンプライアンスの向上に取り組む必要があると考えております。

公益財団法人全国法人会総連合におかれましても、各企業の内部統制面や会計経理面の質的向上に向けた自主的な取組を促すことを目的として、「自主点検チェックシート」及び「自主点検ガイドブック」を作成し、これを会員企業のみならず一般企業にも配布する取組を本年4月から開始する予定と伺っております。

この取組は、納税者全体の税務コンプライアンスの維持・向上に資するものであり、当局としましても貴法人会とともにこの取組を推進していくこととしておりますのでよろしく願いいたします。

また、e-Taxにつきましては、納税者の皆様の申告・納税の利便性の向上に寄与するとともに、税務行政の効率化にも資するものであることから、更なる普及・拡大に取り組んでいるところであります。

貴法人会におかれましては、e-Taxの普及・定着に多大な御尽力をいただき厚く御礼を申し上げます。引き続き、御理解・御協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、公益社団法人名古屋中法人会の更なる御発展と、会員の皆様の御健勝並びに事業のますますの御繁栄を祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

歴史に思いを馳せる古戦場めぐり

名古屋国税局長 富永哲夫氏



局長インタビュー

取材日時／平成25年10月24日(木)10時30分
取材場所／名古屋国税局局長室

■プロフィール

- 昭和34年2月生まれ（福岡県）
- 57年3月 東京大学法学部卒業
- 60年7月 名古屋国税局 調査査察部
調査第一部門 国税調査官
- 63年7月 伊丹税務署長
- 平成9年6月 外務省 在大韓民国日本大使館 一等書記官
- 14年7月 財務省 主計局 主計企画官（調整担当）
- 15年7月 内閣官房長官秘書官事務取扱
- 17年7月 財務省 主計局 主計官
（公共事業総括、公共事業係担当）
- 20年7月 内閣官房内閣参事官（内閣官房副長官補付）
- 22年7月 内閣府本府行政刷新会議事務局次長
- 24年8月 財務省 理財局 次長
- 25年6月 現職



重要な税制改正が続き課題が山積

——抱負をお聞かせください。

昨年の改正国税通則法の施行に続き、今年の4月から消費税率が引き上げられ、さらに今後、社会保障・税番号制度の施行が予定されているなど、税務行政にとっても重要な制度改正が続き、課題が山積しています。

納税者の皆様に自発的に納税していただく申告納税制度がきちんと機能するには、税務行政に対するご理解と信頼をいただけることが不可欠です。そのためには税金が国民にとって本当に必要な分野で無駄のない使われ方をされることが大前提で、政府全体で取り組んでいかななくてはなりません。

私ども国税当局としては、ひとつは申告納税に際してのコストを軽減するために組織をあげて取り組んでいます。e-Taxの普及・定着などによって、納税者の皆様の利便性の向上を図り、納税者サービスの充実に努めていきます。

もうひとつは善良な納税者が不公平感をもたれることがないように、適正・公平な課税に努め、悪質な納税者に対しては厳正に対処していく方針です。

国税通則法の改正により、事前通知など調査の手続きが厳格になりました。その影響で調査の件数が減らざるを得ませんので、真面目に納税されている納税者の調査は間隔を長くして、悪質な納税者に力を注ぎメリハリをつけた調査をしていきます。

歴史ある自然豊かな町で育ちました

——前は昭和60年(1985)7月に名古屋に赴任されましたが、名古屋の雰囲気は変わりましたか。

1年間いました。金融が緩和されてバブルになる直前です。名古屋の雰囲気は、当時からチャレンジ精神が旺盛で、いろいろなことに取り組んでいくのが昔からの伝統ですね。この局でスタートしたいろいろな新しい取組が全国で取り入れられました。

経済取引が国際化する中で、仕事の内容もずいぶん変わってきていて、組織も当時とはずいぶん変わったと思います。

名古屋の印象は、日本全体でみると製造業が苦戦しているなか、この地域の製造業は競争力があって、次世代自動車や航空機などの先端産業も数多く立地し、将来の新しい成長を牽引する役割を期待されていると思います。

——福岡県のご出身だそうですね。

福岡市内の西の外れにある、山も海も近くにある田舎で育ちました。

魏志倭人伝の邪馬台国はどこかという議論がありますが、海を渡って九州に上陸したときに伊都国^{いとこく}に寄ったという記述があります。それが福岡市の西隣の糸島市です。近所に古墳もありました。自転車で行けば海水浴場にも行けましたし、蒙古襲来に備えて築かれた元寇防塁もあります。

名古屋が歴史の中心だった時代より数百年以上前ですが、その時代に繁栄し歴史的に重要な地域でした。

中学まで福岡市にいたのですが、当時は北九州市のほうが大きかったです。でも地下鉄や新幹線もでき、だんだん福岡市が大きくなって、今はエリアの中心地となりました。

あまり勉強もせずボクシングに熱中

——将来についてはいつ頃決められたのですか。

高校は鹿児島県のラサール高校、大学は東京大学に行きまし



た。将来については、大学時代に、なんとなく公的な仕事をしたいと漠然と感じていたのですが、就職を決める前、役所も民間企業も訪問させていただき、いろいろ話を伺うなかで自分は公的な仕事をしたいと思いました。

——ラサール高校は全寮制ですか。

寮生のウエイトが高く、私も寮に入っていました。自宅から通っている人や、当時は賄い付きの下宿屋さんから通う人もいました。

——大学時代はどのようにお過ごしでしたか。

ボクシング部にいました。ボクシング部の練習場は駒場にあって、専門過程のある本郷には行かず駒場にばかり行って、あまり勉強しませんでした（笑）。

——ボクシング部に入られたきっかけは？

大学に行ったら運動部に入りたいと思っていましたが、誰でもやっているスポーツではなく、大学から始めても通用するものと考えました。ボクシングを観るのは好きでしたから、イヤならすぐに辞めれば良いと思って入部、抜けられずに4年間続けました（笑）。

——アマチュアでも試合前に減量するのですか。

自分にとってちょうどいいクラスに1年先輩がいたので、ひとつ下のクラスに下げなければならず、10キロ減量してフライ級でした。

——軽量が終わったら食べてもいいのですか。

前日に計量する試合と当日朝にする試合があって、前日だと一晩ありますから比較的楽です。無理して減量していますから、お腹を壊さないようにカロリーの吸収の早い食べ物を適量食べます。

2週間くらい前から減量するのですが、試合が終わるとお腹が壊れるのがわかっていても、恨みをおつけるように飲み

食いました（笑）。

——好きな食べ物や、お酒はいかがですか。

新鮮なものは何でも美味しいですね。福岡も魚がおいしいです。

お酒はそれほど飲めませんが、いろいろな種類を楽しんで飲んでいきます。韓国にいたときには、マッコリとか焼酎、爆弾酒（ビールにウイスキーを混ぜた韓国カクテル）も飲まされました。最近は韓国もマイルドになってウイスキーではなくて焼酎と混ぜているようですが、ウイスキーだと強いです。

韓国でマーケットの怖さを知った

——あちこち赴任されていますが、印象に残るお仕事は？

韓国は97年6月に赴任して3年いました。行った頃にアジア通貨危機がタイからインドネシアに波及しました。韓国では、誰も韓国に波及するとは思っていなかったのですが、秋口からおかしくなって、アツと言う間にマーケットが大暴落、韓国内のドルがなくなってしまい大変な状況でした。日本は国際機関や各国に働きかけて、支援パッケージづくりに貢献しました。最初は「日本が最後に引き金を引いた」と韓国国内で誤解されることもありましたが、実は日本の金融機関が最後まで踏ん張っていたことや、日本の努力もあってパッケージがまとまり危機を脱したのだと理解され、かつ年明けに金大中政権に変わり、日韓ワールドカップの協力が始まったり、いい雰囲気になりました。韓国に赴任した最初は金融危機対応で日本の財務省との連絡とか大変でしたが、その後は次第に落ち着いていきましたし、とても貴重な経験をさせていただいたと思っています。



「我が国の
財政の現状」

講師 富永哲夫氏

◆局長講演会

平成25年11月21日(木) 14:45～16:15
名古屋大学経済学部

この経験からマーケットは本当に怖いと思いました。ほんの数か月前までは表面的にはさざ波も立っていないマーケットがドーンと崩壊するのです。それは常に念頭に置いておかないといけないと感じました。

公共事業予算の配分に苦心

—東京勤務が長いですね。他に印象に残ったお仕事はありますか。

官房長官の秘書官をしていた時代も印象に残っています。その後主計局で公共事業予算を担当したのですが、小泉政権の財政再建プランでは毎年公共事業予算を減らすということで、担当した3年で10%ほど削減することになりました。日本の成長には都市の環状道路の整備なども必要であるとか、予算が減る中でやらなければいけないことに配分を考えるのが大変でした。

着任する前に中越地震があり、台風の被害がすごい年もあって、防災のための公共事業はやらなくてはいけないと感じました。公共事業予算は基本的には建設国債の対象経費ですので、将来に形の残るもの、コンクリートなどのハードに予算をつけることになるのですが、防災については、ソフト面（避難する体制）との両輪でやらないとできないということで、ハザードマップや避難計画を作ってもらったための予算をとりました。そういう取り組みを始めたところに東日本大震災が起こったのです。この地域も東南海地震への備えが必要で、いま自治体の皆様は一生懸命取り組んでおられますが、そういうことが起きたときにどうしたらいいか、各税務署でも考えるように言っています。

最近、古戦場巡りをしています。

—ご趣味は？

旅行は好きです。海外赴任していると夏休みが長くとれたので、韓国にいたときにアジア、ヨーロッパやアメリカにも行きました。2000年に日本に帰ってきてからも、国内をずいぶん旅行しました。

こちらに来てからは、桶狭間を手初めに関ヶ原、名古屋城、犬山城、岐阜城、長篠、三方ヶ原、姉川から小谷城址など古戦場巡りをしています。数年前に福岡に帰省したとき、佐賀県の名護屋城に何十年振りに行きましたら、諸大名の誰がどこに布陣していたのか視覚で楽しめるように作っており、想像すると楽しくて、それから古戦場巡りをするようになりました。

—名古屋中法人会は公益社団法人になって3年目を迎えます。課題は、なかなか法人会の加入率が伸びないことです。ご助言をお願いします。

公益社団法人になられたのは、会長さん始め皆様のご尽力があつてのことで、引き続き充実した事業展開をされることを期待しています。

ホスピタルクラウンの派遣やミニサッカー大会など地域社会への貢献の実施、また税務研修など納税意識の高揚・啓発など、充実した事業展開をされていると伺っています。加入率の向上には、本部と13の支部が密接に連携していただいて、地域に根付いた活動を展開されることが、法人会の活動を知っていただくうえでも重要と思います。会員の皆様が一丸となって会員増強されることを期待しています。

—今日はお忙しいところ、いろいろお話を伺うことができました。ありがとうございます。

中国の経済・政治状況と日中関係の行方



出口の見えない減速期に入った中国経済

この数年間、緩やかですが中国の経済成長率が下がっています。

シャドーバンキングも経済成長率の低下も、背後にあるのは中国経済の構造です。

国内は慢性的な内需不足に悩まされ、中国の個人消費率は約37%です。日本は60%前後で6割程度が国民の消費に支えられて健全だと思えますが、中国は人口13億人の国民の消費率が4割未満なのです。残りの6割は公共投資、民間の設備投資、不動産投資の拡大で経済成長を支えてきました。

消費の低さの原因は貧富の格差の拡大です。この十数年間、富があまりにも一部の人々に集中しすぎました。調査機関の結果では、民間貯蓄の75%が人口の1割の人々によって蓄えられ、半数の家庭はほとんど貯金もなく、あまりお金を使いません。

経済運営の最高責任者であった温家宝首相が在籍中の10年間にどうやって経済成長率を維持してきたか。切り札は2つ、ひとつは政府による財政出動です。景気が悪くなると中央銀行からお金を引き出して大型の財政出動して公共事業投資をしました。もうひとつは金融緩和政策です。国有銀行に号令をかけて、民間の不動産投資や設備投資の拡大を促して、高い成長率を維持したのです。

2008年にリーマンショックがあり世界同時不況になりました。中国も大

評論家

石平氏
せきへい



名古屋市内9法人会合同講演会

日時／平成25年10月2日(水)

会場／日本特殊陶業市民会館

きな影響がありました。日本政府が財政出動するなら数兆円ですが、温家宝政府は64兆円もの財政出動をして公共投資して景気回復を図りました。

一昨年中国の高速鉄道で大きな事故がありました。その高速鉄道は64兆円の財政出動のときに建設が始まり、数年間で数千キロの高速鉄道が急スピードで整備されました。中国の高速鉄道は、人が乗るために造ったものでなく、財政出動のために造ったものです。

金融緩和によってインフレに

温家宝政府がやった金融緩和政策で、お金が大量に銀行から放出されて民間に回り、不動産投資の拡大を促し、その結果不動産バブルが始まりました。

それは中国ならではのやり方です。中央銀行に独立性はありません。総裁は首相の部下ですから、中央銀行に電話すれば温家宝は無制限に財政出動できるのです。中央銀行のお金が底をついても困りません。造幣局に電話すればお札はいくらでも刷ってくれます。常にこのやり方で景気を維持してきました。

しかし、大きな問題が生じました。「流動性過剰」です。実体経済のサイズ以上に中央銀行は多くのお金を発行、流通させました。中央銀行の昨年発表によれば、流通しているお金は103兆元（日本円なら1,640兆円）。中国の昨年のGDP（国内総生産）は52兆元ですから、GDPの2倍もお金が流通しているのです。流動性過剰によってお金の価値が減りモノの価値が上がりました。消費者物価指数は、2009年11月まで0.6%でしたが、12月に1.9%に上がりインフレが始まり、ピークに達したのは2011年8月で6.4%でした。特に上昇率が激しかったのは食品で、毎月十数パー

セント上昇しました。

経済成長はしたのですが、富はある一部の人々にだけ集中し、貧困層の裾野が広がりました。政府の発表では、貧困層は都市部だけでも1億5千万人と言いましたが、政府の発表する悪い数字は2倍にするのが正しいというのが常識です。都市部だけでも数億人の貧困層の人々がぎりぎりの生活をしています。食品を中心に物価が毎月十数パーセント上昇すれば、いずれか貧困層の人は食べていけなくなり、そうすると革命が起きます。政府は危機感をもち、インフレを押さえるために2010年秋から2012年春まで金融引き締め政策をして、結果、消費者物価指数が1.7%になり、インフレが落ち着きました。

シャドーバンキングの実態

しかし中国経済は大きなダメージを受けました。中国経済の6割を支えていたのは民間の中小企業でした。中国は国営銀行ですから、優先して国有大企業に貸し出しして民間の中小企業の面倒をあまりみません。2011年と2012年の金融引き締め政策でますます中小企業にお金が回らなくなって、結果的に中小企業の倒産ラッシュになり、中国経済全体がダメになって成長率が大幅に下がったのです。

そのなかで民間資本が闇金融になって中小企業を相手に高い金利でお金を貸す商売がはまりました。「高利貸」です。利息は年間80%の高金利です。貸す側にしたら暴利です。それに乗じて一部の国有大企業も高利貸の商売に参入しました。国有大企業は、普通の金利でお金を借りられる特権をもっていますから、安い金利でお金を借りて、それを中小企業相手に高い金利でお金を貸すのです。その暴利に気がついたのが国有銀行です。そんなオイシイ商売なら

